



動物たちにおいしいお芋を！

～ 始動！「さつまいも夢プロジェクト」～ 大館南小学校区
《ふるさとキャリア教育》

大館市立南小学校では、地域との関わりを通して、様々な人々との絆を深めることをねらいとして、地域の人と一緒にサツマイモを栽培し、秋田市の大森山動物園に提供する「さつまいも夢プロジェクト」を今年度立ち上げた。

このプロジェクトは、動物園と10年以上の取引関係にある学区内の農家が仲介し、最も必要としている餌がサツマイモであるという動物園側の要望を受けて始まった。

その運営においては、「地域を教室に」・「地域の方々・保護者を先生に」の方針の下、地域コーディネーターをはじめ、多くの地域住民の参画、休耕田の無償提供、地元企業の協賛など、地域を巻き込んだ大変大きな事業に発展している。

春には30アールの畑に約800本のベニアズマの苗を植え、6月には「ふれあい夢集会」において動物園職員を招いて講話を聴き、秋の収穫後には園を訪問してサツマイモの贈呈式を行っている。現在、次年度へつなぐための更なる取組が続いている。



ふれあい夢集会



農園でのつる返し作業



動物園での贈呈式



《 大館南小 今泉静子校長先生 》

この「さつまいも夢プロジェクト」について「期待しています」「子どもたちの自信になります」と、保護者からたくさんの支持と協力をいただいている。また地元企業や南小学校区教育振興会他、地域の皆さんのバックアップも大変にありがたい。地域を支え、地域を発展させる子どもを育てるために、今後わくわく感と感謝の気持ちを大切にしながら動物園との交流を継続していきたい。



《 子どもたちの感想 》

- さつまいもをゾウの花子と大すけが食べてくれました。わたしは、ゾウさんが食べ物を「はな」と取るなんて知りませんでした。しょうらいじゅういになり、動物が元気にくらせるようにしたいと思いました。(2年生)
- わたしのテーマは「鳴き声」でした。はじめは動物がこわかったです。でも、サルのキーキーを聞いてかわいいと思いました。ライオンの声は大きくてはく力があつたけど、動物はこわくなくなりました。(4年生)
- さつまいもをゾウたちが鼻を器用に使っておいしそうに食べていました。調べたキリンの色が本当は茶色と白だということも初めて知りました。動物園で実際に見たので確かめることができました。(5年生)
- 動物の看板や紹介を見て職員の人たちの工夫を感じました。一番心に残った場所は「動物病院」です。人間と同じ治療器具や薬を使い、あらゆる手段で助けようとする気持ちが、強く伝わりました。(6年生)

地域ぐるみで育てる基本的生活習慣

次世代を担う田代の子



夢の実現に向けての自立プラン 大館市 田代中学校区

平成26年度

次世代を担う田代の子

～夢の実現に向けての自立プラン～

めざせ子ども像

- ・チャレンジ精神で、ベストをつくす子ども
- ・学習と生活において、自立した子ども
- ・心も体も元気な子ども

〇〇小学校 年 名 前

学校、家庭、地域で育てる

生活習慣表	お手伝いで活躍 (積極的に家事をこなす)	英語であいさつ (挨拶の言い方)	起床・起床 (起床の言い方)	自分のことは自分で (自立の意識)	時間を守った学習習慣	食と健康 (食生活の意識)
中 学 校	時と場に応じた言動	リズムある生活	先を見通した生活	毎日90分以上	・食生活の意識を大切にし、歩む習慣を身に付ける	
小学校高学年	相手の目を見て心のこもったあいさつ	就寝時刻・起床時刻まで 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	・前日に学校の準備 自分で着替えの準備 整理整頓 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	6年生は70分 5年生は60分	・正しい姿勢・食生活の意識を大切にし、歩む習慣を身に付ける	
小学校中学年	地域の方にも通じるあいさつ	起床時刻・起床時刻まで 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	・前日に学校の準備 自分で着替えの準備 整理整頓 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	4年生は50分 3年生は40分	・正しい姿勢・食生活の意識を大切にし、歩む習慣を身に付ける	
小学校低学年	近所の人にも通じるあいさつ	起床時刻・起床時刻まで 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	・前日に学校の準備 自分で着替えの準備 整理整頓 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	2年生は30分 1年生は20分	・正しい姿勢・食生活の意識を大切にし、歩む習慣を身に付ける	
保 育 園	おうちの人におまかせのあいさつ	起床時刻・起床時刻まで 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	・前日に学校の準備 自分で着替えの準備 整理整頓 起床時刻 午前6時30分 ～起床の声をかけ～	・寝る前の読み聞かせ		

平成26年6月 田代中学校区小中連携「次世代を担う田代の子」夢の実現に向けての自立プラン(作成委員会) 策定

大館市田代中学校区では、小中のプラン作成委員会が提案する自立プラン「次世代を担う田代の子」の指標に沿って、幼保小中は元より地域全体で幼児期から思春期の生活習慣形成に努めており、児童生徒の明るいあいさつや望ましい食習慣、インターネットセーフティなどについて、地域ぐるみの取組が展開されている。

プランは、「お手伝いで活躍」「笑顔であいさつ」「早寝・早起き」「自分のことは自分で」「時間を守った家庭学習」「食と健康」の6項目にわたり、近年社会問題となっている携帯電話のメール通信についても、夜間の目安となる時刻が提案されている。

学校・家庭・地域で機会があるごとに話題に取り上げ、規制する形ではなく、家庭や児童生徒の自主的な習慣形成を促す取組として、その共通実践による成果が地域から期待されている。

「スコープ三味線」で地域間交流

8月25日(月) 山本公民館

BGMに合わせ、スコープを三味線代わりに演奏する「スコープ三味線」は、現在全国的な広がりを見せ、世界大会が国内で催されるほどのブームを呼んでいるが、三種町みたね大学(高齢者大学)の「みたねベンベンYHK」と北秋田市公民館講座で活動する「シャミガールズ」との間では、合同練習を兼ねた地域間交流が実現した。



5月に、ある研修会で話が出たことがきっかけになり、両地区公民館の支援もあって今回の開催に至ったが、北秋田市公民館講座としても初の遠征となった。各地のイベントで大活躍中の両グループは、「千恵っ子よされ」「ドンパン節」「ズンドコ節」「帰ってこいよ」などの名曲を演奏し合い、互いの技能面の向上を図りながら、トークも加えた笑いのある交流を楽しんでいた。

同行した社会教育関係職員にとっても、人の和、コミュニケーションづくりを高齢者の方々に学んだ1日となった。



左:みたねベンベンYHK 右:シャミガールズ

《北秋田市「Gちゃんサミット」で初共演》

10月4日(月) 北秋田市中央公民館

両グループの師匠は、講師の畑沢貴美子先生であり、この日も会場に駆けつけてくださった。



声援をおくる畑沢先生

先生は本場津軽で修行を積み、青森を会場に開催された世界大会でも大変優れた賞を受賞しており、現在『スコープ三味線』の醍醐味と楽しさを伝えている。